

令和6年度

複合課題に「気づき・つながる」研修会 開催のご案内

医療・介護の現場では、キーパーソンの不在や経済的困窮、8050 問題、虐待、精神疾患や障がいのある同居親族への対応など、特定の分野だけでは対応の難しい課題を複合的に抱えているケース、いわゆる複合課題を抱える世帯への対応が課題となっています。このような複合課題については、課題が深刻化した段階では対処が難しいため、より早い段階で気づき、支援者につなぐような予防的な関わり方が求められています。

福岡市では、関係機関・団体と共働で「福岡市地域包括ケアアクションプラン」を策定し、地域課題の解決に向けた取組みを行っています。令和4年度、「複合課題への対応」に関して多分野の専門職が参加するワーキングにて、複合課題に気づき・つながる人のすそ野を広げることを目的とした研修を作成しました。昨年に続き、今年度も市主催の研修会を開催いたします。ご関心のある方はぜひご参加頂きますよう、お願いいたします。

昨年の研修会は定員を超えるお申込がありましたので、今年度は定員を増やし、広い会場で実施します！（写真は昨年の様子）

一開催概要一

日時：令和6年8月9日（金）14:00～17:00

※受付は13:30から開始

場所：天神ビル10号会議室

（福岡市中央区天神2丁目12番1号天神ビル11階）

定員：80名程度

■対象者：①医療・介護・福祉の専門職 ②複合課題への対応にご関心のある方
※参加者は高齢者分野に限りません。様々な分野の方のお申込をお待ちしております。

■参加費：無料

■申込方法：裏面のお申込内容を記載してメール・FAXのいずれか

■申込メ切：8月2日（金）17:00まで

※参加人数に限りがあるため、定員によるメ切の可能性もございます。メ切翌日以降、受講が決定した方にのみ別途受講決定通知を送付いたします。あらかじめご了承ください。



主催：福岡市福祉局生活福祉部地域包括ケア推進課
事務局：ラボラトリオ株式会社

※本事業は、福岡市主催です。公益財団法人九州経済調査協会・ラボラトリオ株式会社が事業受託し、専門職のワーキンググループを中心に研修を作成しております。

複合課題に「気づき・つながる」研修会 プログラム

研修の目的：課題が深刻化する前段階で、各専門職が自身の関わりの中で複合課題に気づき・つながる人のすそ野を広げること

テーマ	時間	内容
挨拶		○本日の趣旨と進め方等の説明
アイス ブレイク		○グループ内での自己紹介
ミニ セミナー	(20分)	○複合課題と向き合うために ・複合課題の現状や専門職の抱える不安、対応のために必要な心構え ○分野を超えて専門職を知る ・複合課題に関係する各分野の背景や現状・課題など
休憩		
ワーク①	(25分)	①気づきの共有ワーク ・初めて会う時に大切にしている視点を共有するワーク。 分野や立場での違い・視点の広さを知る。
ワーク②	(70分)	②視点の違いを体感するワーク ・複合課題を抱える仮想ケースの模擬検討を通じた対話のワーク。 課題の見立てや必要な支援の違いが出ることを体感する。
休憩		
ワーク③	(20分)	③協力的コミュニケーションワーク ・各分野の隙間になりやすい課題について、それぞれでどんな協力ができそうかを検討するワーク。 制度上の支援以外にもできそうなことに焦点を当てて検討する。
自己 チェック	(15分)	○本日のまとめ ○学んだこと、今後活かしたいことを振り返る
終わりに		○アンケート記載 ○研修プログラムの活用のご案内

お申込フォーム

お名前（フリガナ）	()
ご所属	
職種	
メールアドレス	
電話番号	

【お申込み先（研修事務局：ラボラトリオ株式会社）】

メール：office@laboratorio-lp.com

FAX：092-510-7048

※ メールの場合は、件名「複合課題研修の申込」、メール本文に上記内容をご記載下さい。

※ FAXの場合は、上記をご記載の上、送信下さい。（送信票は不要です。）

※ 受講決定のご連絡等がございますので、メールアドレスを必ずご記載の上、8/2（金）17:00 までに申込みをお願いいたします。

※ 受講決定の通知は、8/5（月）を目途にメールにてご連絡します。

【お問い合わせ先】

■研修内容に関すること

・福岡市地域包括ケア推進課 吉住・井上

TEL：092-711-4373

メール：care.PWB@city.fukuoka.lg.jp

■申込みに関すること（事務局）

・ラボラトリオ株式会社 倉光

TEL：092-753-7059

メール：office@laboratorio-lp.com